

事業所名

一般社団法人つばさ 親園事業所

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2024年

9月

20日

法人（事業所）理念		①利用者一人ひとりが持っている生きる力と個性を尊重し、その利用者の成長にあった療育・支援をおこなうことを基本とします。 ②10年後・20年後に人として安定した輝きある人生が歩めるよう、様々な利用者同士の交流や出会いの体験を大切にします。 ③利用者が自信をもって日々成長していく姿が認められるような療育・支援を目指し、長期的な目標を掲げ、継続的な療育・支援に取り組みます。					
支援方針		●子どもたちは絶対成長するという信念 ●自信を持たせる自立を促すことを目指す ●アプローチ手法にこだわらない					
営業時間		8時	30分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	日常生活を充実させるため、基本的な生活習慣（下着をしまう・靴を揃える・おもちゃの片づけをする・姿勢よく座る等）が定着できるよう支援する。					
	運動・感覚	散歩等で体をたくさん動かす・裸足遊びや小麦粉粘土などの感覚遊びを通して、感覚統合ができるよう支援する。 集団・個別でOTを実施し、支援する。					
	認知・行動	一日の活動の流れを視覚で分かるように掲示したり、タイムタイマーを用いたりして、活動の切り替えがスムーズにできるよう支援する。					
	言語 コミュニケーション	指差し・ジェスチャー・絵カード等を活用し、意思伝達ができるよう支援する。 個別でSTを実施し、支援する。					
	人間関係 社会性	大人との関わりで十分満たされて安心することで、友達を意識できるよう支援する。 集団生活でのルールが理解できるように絵カード等を用いて伝え、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。					
家族支援		保護者の子育ての不安や心配事の相談事の相談にのりながら、一緒に解決できるようにし、安心して子育てできるように支援する。 支援の中で上手くいったことを具体的に伝え、家族と連携して行えるようにしていく。			移行支援	保育園・幼稚園や他事業所と連携して、支援内容の共有や支援方法の伝達が図れるようにする。	
地域支援・地域連携		利用児が通う医療機関や市の担当部署、その他の相談事業所等との発達支援や生活支援に関して連携を図る。			職員の質の向上	積極的に研修会に参加したり、部門内での勉強会を実施し、知識を深め支援の質の向上に努める。	
主な行事等		【4月】お花見・福祉大臨床実習 【5月】畑作業・福祉大臨床実習 【6月】やぎ見学・福祉大臨床実習 【7月】七夕・プール開き・福祉大臨床実習 【8月】夏祭り・部門間交流 【9月】秋祭り準備 【10月】秋祭り・芋掘り 【11月】運動会・消防訓練 【12月】クリスマス会 【1月】風揚げ 【2月】節分 【3月】ひな祭り・修了式					